

近視 (きんし)

主な症状

遠くが見にくい。かすむ。疲れやすい。

どんな病気？

近視は日本人の約3分の1が該当するといわれ、眼科でもっとも多い症状です。近視は手元や近くの物はよく見えますが、遠くの物はぼんやりとしか見ることができません。光が網膜の前で焦点が合ってしまい、ピントが合わない状態となり、それが原因で遠くがぼやけて見えます。つまり、眼内に入った光が網膜よりも手前で焦点を結んでしまい、網膜にピントがあわない状態をいいます。

- 1) 角膜や、調節 (ピント合わせ) をおこなう水晶体の屈折力が大きすぎる場合を「屈折性近視」といいます。
- 2) 角膜から網膜までの長さ(眼球の長さ=眼軸長)が正常よりも長い場合を「軸性近視」といいます。通常、少年期から起こって、10代の後半から20代前半に進行は止まると言われていましたが、最近ではパソコンなどの普及により、成人以降も近視が進むことがあると報告されています。また、当然のことながら適切なメガネやコンタクトレンズを使用しないしていると眼は疲れやすくなります。

対処Q&A

Q 検査のみ所要時間は？

A 30分

※眼鏡処方の場合+20分

※コンタクトレンズ検査の場合+30分(ただし初心者は装用練習や取扱い説明にさらに50分程度必要となります)

Q 子供のメガネの注意点は？

A 子供の場合は、成長にともなって顔の大きさも変化するため、1～2年ごとにメガネ枠も交換しなければなりませんし、度数もすぐに変化してきます。そのため高価なメガネ枠は必要なく、壊れにくく安全な物がよいでしょう。メガネレンズは軽い物をお勧めします。

コンタクトレンズやメガネ装用者へのアドバイス

小学生以下の場合、メガネの方が目に負担が少なく安全です。まずメガネを1つ持つことが基本となります。そのうえで、球技などのスポーツをされる際はメガネが不向きな場合もあります。最近では使い捨てソフトレンズなど、便利なレンズや、メニコンのメルスプランなど使い勝手のよいシステムも好評です。



月額1,890円(両眼)からの定額制コンタクトレンズ『メルスプラン』!

メルスプランは、月額1,890円からの毎月定額の料金で高酸素透過性のハードレンズや新素材シリコーンハイドロゲル使い捨てソフトレンズ(2週間使い捨て)等メニコンの全てのコンタクトレンズから選ぶことができます。新素材シリコーン使い捨てソフトレンズは乾燥を軽減し、ハードレンズ並みの高酸素透過性もあります。また、使用者のニーズや目の状態に合わせて種類変更もできます。

米倉眼科

滋賀県の守山市と草津市の南草津に医院をもち、一般眼科診療、白内障手術、コンタクトレンズ、メガネ処方などを行っております。

守山本院 TEL 077-583-2134

JR守山駅前西口小島ビル5F 定休日: 木曜午後、日曜、祝日

南草津分院 TEL 077-569-1288

JR南草津駅徒歩3分(MNK-3ビル)3F 定休日: 水曜日、日曜、祝日